

## <石清水八幡宮と木津川流れ橋散策>

実施日 令和2年11月11日(水)

記 高山雅史

今年はコロナで春のハイキングが出来なかったので秋の2回のみになりました。

今回は「石清水八幡宮と木津川流れ橋散策」です。

京阪石清水八幡宮駅をスタートしてまず神応寺の境内を通り「こもれびの道」の標識に沿って「鳩ヶ峰」を目指します。林の中の登り一方の結構急な山道登ります。タケノコの産地だけあって途中よく整備された竹林(タケノコ畑)を見て、再び山道を行くと50分ほどで八幡市最高点と書かれている「鳩ヶ峰(142.5m)」に着きました。雑木林の中で展望はありません。



頂上から30分ほど下りエジソン記念碑を通り両側に石燈籠の並んだ表参道に出ました。正面の南総門をくぐり豪華な石清水八幡宮社殿に参拝しました。この八幡宮は日本三大八幡宮の一つで日本最古、国宝に指定されています。さらに横の東総門より展望台に向かいここで昼食です。

眼下には木津川、宇治川、桂川の三川が望まれ北の方向の天王山の下で合流しています。朝から晴れたり曇ったりの天気は快晴となり展望は見応えがありました。

昼食後下りの裏参道が崖崩れで通れない為表参道を下ります。石段の途中の石清水社寄りでした。ここで湧き出た「石清水」は冬に凍らず夏に涸れない「石清水八幡宮社」の名の由来となった所です。



さらに石段を下り二ノ鳥居をくぐり横に掛かる木の太鼓橋である「安居橋」(あんごばし)を見て頓宮を通り一ノ鳥居から京阪八幡市駅に戻りました。

駅前のバスで「上津屋流れ橋」に行きました。バス停から5分ほどで木津川の堤防に出ました。広い川の両側はきれいな茶畑で、左岸の土手は芝がきれいに刈りこまれていました。土手からは幅の広い木津川に灰色の木橋がくっきり見えました。欄干が無いので「日本の原風景を思わせる木造の風情ある姿」と言われるように幅広い淡い茶色の砂地の川に掛かる橋は見る人の気持ちをさわやかにさせてくれました。いつまでも見ていたくなる景観です。



流れ橋(上津屋橋)(こうづやばし)と言うのは大雨で水かさが増え水位が橋桁に達する橋桁と橋板が浮き上がりますが、橋桁、橋板共にワイヤーロープで橋脚に固定されており流されず、水位が下がれば元に復旧する構造です。



356.5mの長い木造の橋を往復したのですが、橋の両側は何もないので川風に吹かれて渡る気分は爽快で、豪華な石清水八幡宮社殿と木津川流れ橋ハイキングは思い出に残る1日となりました。